

平成 29 年度

監 査 報 告 書 Ⅲ

(定期監査・後期)

飯 田 市 監 査 委 員

29 飯監第 73 号  
平成 30 年 2 月 9 日

飯田市長	牧野光朗様
飯田市議会議長	清水勇様
飯田市教育長	代田昭久様
飯田市農業委員会会長	本田武司様
飯田市選挙管理委員会委員長	平澤壽彦様

飯田市監査委員 加藤良一  
飯田市監査委員 北澤福一  
飯田市監査委員 木下克志

### 監査結果の報告について

地方自治法第 199 条第 1 項、第 2 項及び第 4 項の規定により実施した平成 29 年度定期監査の結果を、同条第 9 項の規定により報告します。

なお、同条第 12 項の規定により、監査結果に基づき、又は監査の結果を参考として措置を講じたときは、その旨を監査委員に通知してください。

第1 監査の期間

平成29年9月1日から平成30年2月9日まで

第2 監査の対象及び監査期日

(1) 予備監査（現金及び物品等検査）

① 健康福祉部

監査期日	監査対象（監査順）	実施場所
10月5日	子育て支援課（本庁）、保健課（保健センター分含む本庁）、子育て支援課（子育て支援係・こども家庭応援センター）、保健課（保健指導係）、長寿支援課	現 地
10月10日	上村ふれあいセンター、上村デイサービスセンター、上村診療所、南信濃老人福祉センター、特別養護老人ホーム遠山荘、南信濃障害者等活動支援センター、南信濃デイサービスセンター、南信濃在宅介護支援センター、南信濃福祉研修センター、南信濃高齢者共同住宅	現 地
10月12日	こども発達センターひまわり、竜東デイサービスセンター、上郷地域休養施設、上郷デイサービスセンター、麻績の里交流センター	現 地
10月13日	福祉会館、特別養護老人ホーム第二飯田荘、いいだデイサービスセンター、特別養護老人ホーム飯田荘、福祉課	現 地

② 市立病院

監査期日	監査対象（監査順）	実施場所
10月5日	市立病院（事務局・地域医療連携課・介護老人保健施設）	現 地

③ 教育委員会（学校・調理場）

監査期日	監査対象（監査順）	実施場所
10月6日	上久堅小学校、竜東中学校、千代小学校、千栄小学校	現 地
10月11日	上郷小学校、上郷小学校給食室	現 地
10月12日	高陵中学校、高陵中学校給食室	現 地
10月13日	丸山小学校、丸山共同調理場	現 地

(2) 書類監査

監査対象
<p>(学校・調理場)</p> <p>追手町小学校、浜井場小学校、座光寺小学校、松尾小学校、下久堅小学校、龍江小学校、竜丘小学校、川路小学校、三穂小学校、山本小学校、伊賀良小学校、鼎小学校、上村小学校、和田小学校、飯田東中学校、飯田西中学校、緑ヶ丘中学校、竜峡中学校、旭ヶ丘中学校、鼎中学校、遠山中学校、矢高共同調理場、竜峡共同調理場、南信濃給食センター</p>

(3) 面接監査 (監査順)

監査期日	監査対象 (特別会計は、所管部課等の監査対象に含む)	実施場所
10月26日	(学校・調理場) A班 上久堅小学校、竜東中学校、上郷小学校、上郷小学校給食室 B班 千代小学校、千栄小学校、高陵中学校、高陵中学校給食室	現 地
10月31日	(学校・調理場) 丸山小学校、丸山共同調理場	現 地
	【上下水道局】経営管理課、水道課、下水道課、下水浄化センター	監査室
11月1日	【総務部】総務文書課、人事課、財政課、税務課、納税課 【総合政策部】企画課、IIDAブランド推進課	監査室
11月6日	【会計課】 【選挙管理委員会事務局】【議会事務局】【監査委員事務局】 【市立病院】事務局 (経営企画課、庶務課、医事課)、地域医療連携課、 介護老人保健施設 【リニア推進部】リニア推進課、リニア整備課	監査室
11月8日	【市民協働環境部】ムトスまちづくり推進課、ふるさと定住支援課、 男女共同参画課、市民課、環境課、環境モデル都市推進課 【建設部】管理課、地域計画課、土木課、国県リニア事業課	監査室
11月10日	【健康福祉部】福祉課、子育て支援課、長寿支援課、保健課 【市長公室】秘書広報課 【危機管理室】	監査室
11月13日	【産業経済部】産業振興課、商業・市街地活性課、金融政策室、工業 課、観光課、林務課 (財産区を含む)、農業課 【農業委員会事務局】	監査室
11月14日	【教育委員会】学校教育課、生涯学習・スポーツ課、公民館、文化会 館、中央図書館、美術博物館、歴史研究所	監査室

第3 監査の方法及び監査手続き

財務に関する事務の執行等について、あらかじめ指定して提出を求めた予算の執行状況及びその他関係資料に基づき、所管の長及び関係職員から説明を聴取した。

監査に当たっては、その事務が関係法令に基づき適正かつ効率的に執行されているかどうかを主眼として、また、現金の取扱い及び物品等の管理状況について予備監査として実地検査を実施した。

第4 監査の結果

予算の執行及び物品等の管理は概ね適正に処理されていたことを認めたが、次のとおり改善又は改善の検討を要する事項があったので、内容を十分把握して、それぞれ必要な措置を講じられたい。

<p><b>【監査結果の区分】</b></p> <p>指 摘 事 項：財務等に関する事務の執行について、是正又は改善を求めるもの</p> <p>指 導 事 項：是正又は改善を求める事項のうち、軽微なもの</p> <p>検討要望事項：制度又は運用について改善の検討を求めるもの、複数の部署に対して統一的な指導を求めるもの</p>
---

【監査結果件数】

部局等名	監査実施 課等の数	監査結果件数		
		指摘事項	指導事項	検討要望事項
総務部	5	0	0	1
総合政策部	2	0	0	0
リニア推進部	2	0	0	0
市民協働環境部	6	0	0	0
健康福祉部	4	0	0	2
産業経済部	7	0	0	3
建設部	4	0	0	0
上下水道局	4	0	0	1
市立病院	5	0	0	0
市長公室	1	0	0	1
危機管理室	1	0	0	0
会計課	1	0	1	0
教育委員会	7	0	0	3
議会事務局	1	0	0	0
選挙管理委員会事務局	1	0	0	0
農業委員会事務局	1	0	0	0
監査委員事務局	1	0	0	0
計	53	0	1	11

【指導事項】

○ 会計課

備品について、シールの貼付をはじめとする適正な管理を関係部署に周知徹底されたい。  
なお、指定管理先等を含めた備品の現物確認を行い、適正な管理に努められたい。

【検討要望事項】

(1) 総務部

○ 人事課

職員がやりがいや充実感を感じながら働けるように、ワーク・ライフ・バランスの推進に引き続き取り組まれない。

(2) 健康福祉部

① 福祉課

備品について、現物確認を行い適正な処理に努められたい。また、貸し出している備品や指定管理先の備品についても使用状況を把握し、その管理について適正な処理を徹底されたい。

② 長寿支援課

備品について、現物確認を行い適正な処理に努められたい。また、貸し出している備品や指定管理先の備品についても使用状況を把握し、その管理について適正な処理を徹底されたい。

(3) 産業経済部

① 産業振興課

勤労者協調融資事業について、金融機関の動向を鑑み、計画的に見直しを進められたい。

② 観光課

イベントや会議等で多忙な中ではあるが、職員の健康管理とモチベーションの維持のため、超過勤務の縮減及び休暇の取得を工夫して努められたい。

③ 農業課

農業振興ビジョンについて、関係団体と連携し、実効性のある取組とされたい。

(4) 上下水道局

○ 経営管理課

水道料金徴収や滞納整理の一連の流れについて、担当職員はマニュアルを十分に掌握し、適時適切な対応を行われたい。

(5) 市長公室

○ 理事者の日程調整にあたっては、健康に配慮し効率的な日程となるよう手配、調整に心がけられたい。あわせて職員の負担軽減についても考慮されたい。

(6) 教育委員会

① 学校教育課

ア 学校の予備監査において、会計簿が適正な時期に作成されていないケースがあった。主管課として、学校に対し指導を徹底されたい。

イ 学有林などの借受地について、学校における活用状況を把握し、適正な借受をされたい。

② 生涯学習・スポーツ課

各施設の利用状況をよく把握し、分析したうえで施設利用の向上について研究されたい。

第5 監査結果に基づき講じた措置の報告（地方自治法第199条第12項の規定に基づくもの）

(1) 平成25年度 監査報告書Ⅲ（定期監査・後期）検討要望事項

検討要望事項	措置状況
飯田EMCセンターについて、関係機関等の情報収集に努められ、計画的な整備を検討されたい。	飯田EMCセンター試験検査機器については、経年等により更新や拡充が必要となっており、設備の稼働状況や重要・緊急度等をふまえ、中長期にわたり更新計画を策定している。平成26年度、国庫補助事業「平成26年度対内投資等地域活性化立地推進事業費補助金（企業立地促進基盤整備事業）」を活用して、緊急度の高い高周波アンプを更新など、試験検査機器配置の最適化を行った。 平成27年度、地方創生交付金を活用して民航用試験設備（D0-160対応）を導入など、更新計画に基づいた設備機器の適正配置を行った。 平成28・29年度は、平成27年度同様に地方創生交付金を活用し、計画的に民航用試験設備（D0-160対応）の導入を行った。 <p style="text-align: right;">（工業課）</p>

(2) 平成 28 年度 監査報告書Ⅲ (定期監査・後期) 指導事項

指導事項	措置状況
保管している預金通帳について、定期的に記帳し、その内容を確認する等の体制をつくるよう求める。	金庫内で管理している通帳を定期的に記帳するよう課内で徹底している。 (公民館)

(3) 平成 28 年度 監査報告書Ⅲ (定期監査・後期) 検討要望事項

検討要望事項	措置状況
① 運転免許自主返納者に対する交通支援対策について、危機管理室や長寿支援課等関係各課と連携し、その対策のより一層の充実に取り組みたい。	① 長寿支援課、福祉課及びリニア推進課の担当者が集まり、それぞれが把握している高齢者の移動手段の確保に係るニーズと支援策の情報共有と課題認識を図った。支援策の充実については、今後協議していく。 (リニア推進課)
② りんご庁舎の今後について、関係各課と連携し市民のニーズを踏まえた方向性を検討されたい。	② 庁舎横断的に開催されている「りんご庁舎の賑わいづくりに関する庁内会議」において今後の在り方と活用方針を検討している。 (市民課)
③ 障害者生活ケアセンターについて、指定管理者等との協議を行い、今後における効果的な運営を検討されたい。	③ 障害者生活ケアセンターで行う生活介護の稼働率低下に伴い収益赤字が続いている状況から、指定管理者から撤退の意向を伺うも、平成 28 年 11 月 8 日に指定管理者の社会福祉法人と協議の場を設け、当該施設の立ち上げ時の経緯や現在利用している主に身体に障がいのある利用者のことを考慮する中で協定期間まで(平成 31 年 3 月 31 日)の受託を依頼。平成 28 年 11 月 26 日の当該法人の理事会において市の意向が伝えられ、引き続き、当該法人の指定管理によって事業の運営が行われている。 設置者の市としては、効率的な運営のため、障がい者の意向を確認しながら計画相談支援専門員やその他関係機関と連携し、引き続き、稼働率アップに繋げるため支援を図っている。平成 29 年度中においては、これまでに 4 人新規利用者を繋げる支援を行った。 (福祉課)
④ 「木工センターとちの木」の活用について、明確な経営方針の検討を加速されたい。	④ 平成 28 年 5 月に上村まちづくり委員会特別委員会「お仕事づくりプロジェクト」を設置、当該施設の利用について検討がなされた。同年 9 月に施設の管理運営方法についての地域としての方向性が報告された。報告内容により、課題や問題点などについて意見交換を行ったが年度内の意見集約に至らなかった。

検討要望事項	措置状況
	<p>平成 29 年 11 月現在、新しい役員体制（平成 29 年度役員改選）で検討を進め、同月中に地域としての意見が報告される見込みである。</p> <p>市は、この報告を受け対応を検討し、地域との協議を行い平成 29 年度内には管理運営の方向性を決定する予定。</p> <p style="text-align: right;">（林務課）</p>
<p>⑤ 市営住宅使用料の徴収を長野県住宅供給公社へ管理委託したことを踏まえ、業務体制を再検討し、必要に応じ組織運営の合理化等に努められたい。</p>	<p>⑤ 平成 28 年度は、市営住宅を担当する職員は正規職員 2 名であったが、平成 29 年度から、正規職員 1 名、臨時職員 1 名の 2 名に変更となった。長野県住宅供給公社との連携を密にすることにより、正規職員の減員による対応の遅れ等の問題は発生していない。</p> <p style="text-align: right;">（地域計画課）</p>
<p>⑥ 備品について、現物の確認等を行い、適正な管理に努められたい。</p>	<p>⑥ 備品システムの更新に伴い、登録方法など変更点があることから研修会等で周知徹底するとともに、平成 29 年度から現物の確認を実施している。</p> <p style="text-align: right;">（会計課）</p>
<p>⑦ 児童館、児童クラブ及び児童センターの事務処理について現状を確認し、適正な処理となるよう指導されたい。</p>	<p>⑦ 児童館、児童クラブ及び児童センターの事務処理を行う児童支援員は、臨時職員であって入れ替わりも多く、長年それぞれの事務引継が行われてきたため、伝票等の書類様式や事務処理方法に差異が生じていることが課題と認識しており、平成 29 年度から会計処理伝票等の様式統一、郵券受払簿様式統一、保護者から集金した負担金等の管理徹底、備品管理等の改善指導を行うとともに、複数でのチェック体制を徹底してきた。</p> <p>事務処理研修(平成 29 年 11 月 24 日に開催)については今後も継続して開催し、事務改善に努めて参りたい。</p> <p style="text-align: right;">（学校教育課）</p>
<p>⑧ 学校トイレの整備について、時代に即した洋式化及び水洗化をスピード感を持って計画的に進められたい。</p>	<p>⑧ 学校施設大規模改修事業において、校舎の漏水問題を解決するための給排水設備の老朽改修に併せ、トイレの様式化に逐次取り組んでいるところであるが、トイレ改修を含めた給排水設備の整備は多額な費用がかかるうえ施工期間が夏休みに限定されるため、1つの学校の改修を終えるのに数年かかることもある。</p> <p>これまでは耐震改修事業を重点施策として行ってきたところであり、本格的なトイレ改</p>



検討要望事項	措置状況
	<p>修は始めたばかりであるが、今後とも限られた予算の中で、毎年継続的に、時代に即した乾式型のトイレ臭気対策、衛生性を向上させながら様式化を図るとともに、非水洗の外トイレ等についても順次、水洗化できるよう引き続き予算確保等に努めて参りたい。</p> <p style="text-align: right;">(学校教育課)</p>
<p>⑨ 「シニア・シルバー世代と地域をむすぶ事業」について、関係各課と連携し充実した取組を推進されたい。</p>	<p>⑨ 定年退職を控えた世代が、キャリアを生かしたライフスタイルを自らがデザインし、地域で生き生きと暮らすことを考え実践する講座を平成 26 年度から実施している。この講座の参加者がそれぞれの地域において、自治振興センターや農業課、観光課等と連携した取組をしてきた。今後も必要に応じて関係課をつなぎ、シニア・シルバー世代と地域をつないでいく。</p> <p style="text-align: right;">(公民館)</p>
<p>⑩ 郷土資料を活用したふるさと学習について、関係各課と連携する等して、幅広い世代の参加に繋がるよう充実した取組を推進されたい。</p>	<p>⑩ 郷土資料を用いた展示・講座を市民と協働して企画するなど、多くの市民の関心を得られるよう努めている。例えば、平成 29 年開催の図書館特別資料展では、市制 80 周年記念事業として「飯田線 辰野～豊橋 全通 80 周年」と題して行うほか、PR を兼ね、館内で辰野駅から豊橋駅までの各駅の写真を線路でつなぐなど、子どもにも関心が広がるよう工夫している。</p> <p style="text-align: right;">(中央図書館)</p>
<p>⑪ 基金を有効に活用する等して、充実した春草の常設展を実現されたい。</p>	<p>⑪ 平成 29 年度中に、菱田春草 2 点（「水辺初夏（鷺）」と「鎌倉時代闘牛の図」）、下村観山 1 点（「稚児文殊」）を購入する。10 月中に 1 点（「水辺初夏（鷺）」）を、平成 30 年 3 月までに残 2 点を購入することで所有者と譲渡契約書を取り交わした。</p> <p>今後も時宜を見ながら、収蔵作品の充実に努めていく。</p> <p style="text-align: right;">(美術博物館)</p>
<p>⑫ 若者を始めとする地域住民に親しまれるような事業を工夫して推進されたい。</p>	<p>⑫ 平成 29 年度は、美博まつりで小中学生向けの歴史的な建造物模型づくりのワークショップは実施できなかったが、中高生の職場体験を 10 月に実施した。</p> <p>移転後の施設での「利用しやすさ」を求め、利用の向上に努めると共に、市民への研究成果還元や、地域の人材育成、美術博物館や図書館、公民館等施設との一層の連携といった視点を大事に、更に利用していただける環境と体制の整備に向けて取り組んでいく。</p> <p style="text-align: right;">(歴史研究所)</p>

検討要望事項	措置状況
<p>⑬ 農地転用許可権限の移譲対象市町村の指定を受けたことにより、関係各課と連携して取り組むべき施策を検討し、適切な運用を図りたい。</p>	<p>⑬ 農地転用許可権限移譲については、平成 28 年 6 月の指定後、飯田市から飯田市農業委員会へ地方自治法に基づく事務委任手続きを行い、運用開始となった同年 9 月から許可証を飯田市農業委員会が発行している。</p> <p>農地転用許可等申請受付において、事前相談記録簿による職員情報共有、窓口受付の複数職員でのチェック体制により受付時の審査ミス等を無くすように取り組み、平成 29 年 11 月現在までトラブル発生はなし。</p> <p>農地転用許可申請から許可までの期間は、指定市の運用開始以前と比較し、農業会議へ意見を確認する案件を除き、10 日以上早く完了し、住民サービスに繋がっている。</p> <p style="text-align: right;">(農業委員会)</p>

(4) 平成 29 年度 監査報告書Ⅲ (定期監査・後期) 指導事項

指導事項	措置状況
<p>備品について、シールの貼付をはじめとする適正な管理を関係部署に周知徹底されたい。</p> <p>なお、指定管理先等を含めた備品の現物確認を行い、適正な管理に努められたい。</p>	<p>日常の備品管理、財務会計システムへの登録・廃棄、指定管理者制度を導入している施設の備品の管理、各種団体等が所有する備品の管理、備品現地検査の実施を各課等の長宛へ通知し、備品の適正な管理を周知徹底した。</p> <p>なお、指定管理先等を含めた備品の現物確認を、今年度から計画的に実施している。</p> <p style="text-align: right;">(会計課)</p>

(5) 平成 29 年度 監査報告書Ⅲ (定期監査・後期) 検討要望事項

検討要望事項	措置状況
<p>① 職員がやりがいや充実感を感じながら働けるように、ワーク・ライフ・バランスの推進に引き続き取り組まれない。</p>	<p>① ワーク・ライフ・バランスの推進にあたっては、労使から選出した委員により構成するワーク・ライフ・バランス検討委員会において、事業主行動計画に基づく取組の実施状況や数値目標の達成状況の点検・評価等について検討を行っている。</p> <p>また、平成 30 年 1 月から 3 月まで定時退庁と休暇取得について推進するとし、特にノー残業日（水曜日）の徹底と、振替休暇・代休取得を促進するとともに、平成 30 年度においても推進期間を設けて取組を進めていく。</p> <p style="text-align: right;">(人事課)</p>

検討要望事項	措置状況
<p>② 備品について、現物確認を行い適正な処理に努められたい。また、貸し出している備品や指定管理先の備品についても使用状況を把握し、その管理について適正な処理を徹底されたい。</p>	<p>② 備品については、指定管理先や貸出先を含めて、再度現物確認を行い、使用状況等に応じて、所管替えや廃棄処分を行った。 今後、指定管理先を含め、適正な処理を徹底していく。 (福祉課)</p> <p>② 備品について、現物確認を行い適正な処理に努める。 指定管理先の備品について、主管課職員が平成 29 年度内に現物確認を行い使用状況を把握し、貸し出している備品は借用書を徴する。また、長期にわたり貸し出している備品は所属換処理を行う。 その後も継続的に現物確認を行い、備品管理について適正な処理を徹底するよう努める。 (長寿支援課)</p>
<p>③ 勤労者協調融資事業について、金融機関の動向を鑑み、計画的に見直しを進められたい。</p>	<p>③ 他市の取組状況や長野県労働金庫の考え方について聞き取り調査を行ってきている。 今後は、勤労者関係団体等との意見調整を図り、平成 31 年度予算案には、具体的に反映できるよう見直しを進めていく。 (産業振興課)</p>
<p>④ イベントや会議等で多忙な中ではあるが、職員の健康管理とモチベーションの維持のため、超過勤務の縮減及び休暇の取得を工夫して努められたい。</p>	<p>④ 超過勤務が多い職場としての自覚はもっており、引き続き、課全体での業務の平準化、効率性を高めることにより超過勤務を縮減しつつ成果（生産性）を下げない手法を見出していきたいと考えている。さらには、事業の廃止や外部委託等の業務整理も検討していく。 (観光課)</p>
<p>⑤ 農業振興ビジョンについて、関係団体と連携し、実効性のある取組とされたい。</p>	<p>⑤ 飯田市農業振興ビジョンは、現在、農業者等から成る検討会を設置して、目指す農業・地域の姿、その実現に向けた基本目標及び戦略的な展開等について検討を行っている。 飯田市では地区ごとに農業実態に違いがあり、多様な担い手によって農業が支えられていることを踏まえ、農業振興委員（農業委員及び農地利用最適化推進委員）や、飯田市農業振興センターを構成する J A 等の生産団体との協議も行い、関係者、関係団体と連携してボトムアップ型の地域農政を展開できるビジョンとする。 農業を取り巻く課題解決には農業者、農業</p>

検討要望事項	措置状況
	<p>関係団体、農業委員会、行政が協働して活動することが重要であることから、飯田市農業振興センターを構成する団体・機関が、目指す姿を共有し、課題や施策展開に合わせてチームを組んで事業推進できるよう、今後の協働体制の再構築についても協議する。</p> <p>これらの協議等の後、平成 29 年度末に計画決定し、当該ビジョンに基づく農業振興施策に取り組んでいく。</p> <p style="text-align: right;">(農業課)</p>
<p>⑥ 水道料金徴収や滞納整理の一連の流れについて、担当職員はマニュアルを十分に掌握し、適時適切な対応を行われたい。</p>	<p>⑥ 担当職員は、水道料金徴収業務全般について、マニュアルを十分に確認し、適切な対応を行うよう努める。</p> <p style="text-align: right;">(経営管理課)</p>
<p>⑦ 理事者の日程調整にあたっては、健康に配慮し効率的な日程となるよう手配、調整に心がけられたい。あわせて職員の負担軽減についても考慮されたい。</p>	<p>⑦ これまで以上に過密となってくる理事者の日程は、効率性に充分意を配すとともに、休憩や睡眠の確保等、健康面における負担の抑制に一層努めて調整を行うこととする。</p> <p>また、職員の負担は、平成 28 年度から配置された臨時職員を効率的に活用し、引き続き代休取得や超過勤務減少等の軽減を図る。</p> <p style="text-align: right;">(秘書広報課)</p>
<p>⑧ 学校の予備監査において、会計簿が適正な時期に作成されていないケースがあった。主管課として、学校に対し指導を徹底されたい。</p>	<p>⑧ 指摘を受けた学校徴収金の会計に関する事務は、飯田市立小中学校集金規定を機軸とした飯田市立小中学校団体会計マニュアル等、定められた規定により執行されるものとされている。関係帳票の作成についても明記されており、月末には当月の支出伺の作成と回議及び証拠書類の整備が定められている（団体会計マニュアル第 2 章学年会計のすすめ方より）。講評を受け、改めて学校に対し、適正な会計事務の執行について通知し改善を促す指導を行う。</p> <p style="text-align: right;">(学校教育課)</p>
<p>⑨ 学有林などの借受地について、学校における活用状況を把握し、適正な借受をされたい。</p>	<p>⑨ 農林業の後継者不足やエネルギー事業の変化により人手の入らない里山の適正な土地利用と環境保全を目的に、環境保全課（当時）で学友林整備事業が小学校周辺の里山の買い上げ又は長期契約の借り上げにより始まり、あわせて教育委員会でも環境教育の教材として取り組んでいるところである。</p> <p>なお、上郷小学校の学友林は、一部民間住宅も「土砂災害警戒区域（ハザードマップ上の黄色）」内に存在する御殿山地区にあるが、</p>

検討要望事項	措置状況
	<p>現在、「土砂災害特別警戒区域（ハザードマップ上の赤色）」の急傾斜地対策工事が着手されている。当該工事が終了すると、現在の「土砂災害警戒区域」の指定が解除されることなどを踏まえ、環境教育の教材、地域の防災知識を体得する観点など、総合的に判断する中で、今後の学友林の活用を期待し、契約を継続している。</p> <p style="text-align: right;">(学校教育課)</p>
<p>⑩ 各施設の利用状況をよく把握し、分析したうえで施設利用の向上について研究された。</p>	<p>⑩ 文化財関連施設については、公共施設マネジメントの中で類似施設の在り方についての検討を進めている。その中で、現状を踏まえ、各施設の役割分担や効果的な運用の方策についても検討し、利活用の取組を進めていく。</p> <p style="text-align: right;">(生涯学習・スポーツ課)</p>